

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
有機アグレット655	動物有機	朝日工業(株)	6	0	5		5			基肥	40	5月	1	0.0	40	5月	1	0.0
エコロンが入り飛騨トマト40	被覆窒素、硫安加里、重過磷酸石灰	(株)シオヤ	14	14	10		14			基肥	80.1	5月	1	11.2	80.1	5月	1	11.2
フミリカ	フミン酸	丸石	0	0						基肥	100.1	5月	1	0.0	100.1	5月	1	0.0
サポニンペレット	有機サポニン	パイオニアエコサイエンス	1	0	0		2			基肥	60.1	5月	1	0.0	60.1	5月	1	0.0
ネオカルオキソ	過酸化カルシウム、水酸化カルシウム	保土谷化学工場株式会社	0	0	0		0			基肥	40	5月	1	0.0	40	5月	1	0.0
FTE顆粒	マンガン、ホウ素、鉄、亜鉛、銅、モリブデン	TOMATEC	0	0						基肥	5	5月	1	0.0	5	5月	1	0.0
アグロスベシカル324	カルシウム・マグネシウム・微量要素	東海物産(株)	13.5	13.5	7.8		21.5			追肥		6月						
尿素			46	46						追肥		6月、7月、8月						
硝酸カルウム			13	13						追肥		6月、7月、8月						
第一リン酸カリ				0						追肥		6月、7月、8月						
硫酸マグネシウム				0						追肥		6月、7月、8月						

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分で比較して 当地比	3 削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)
慣行使用量	34.8
計画使用量	23

*節減対象農薬

当地比	5 削減	
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	20	46

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
生長調整	トマトーン	4-CPA		生長調整			開花前	1	1			開花前	1	1	1	1
殺菌	ドイツボルドーA	銅		殺菌				0	0	500	100L	5/1	1	0	-	
殺菌	ベルコート水和剤	イミノクダジンアルベシル酸塩		殺菌				1	1	3030	100L	5/1	1	1	3	3
殺虫	カスケード乳剤	フルフェノクスロン		殺虫				1	1	2000	100L	5/1	1	1	4	4
殺菌	オーソサイド水和剤80	キャプタン		殺菌				1	1	800	200L	5/7	1	1	5	5
殺虫	ミネクトデュオ粒剤	シアントラニリプロール・チアメトキサム		殺虫		2g/株		1	2		2g/株	5/22	1	2	1	4,4
殺菌	ピクシオDF	フェンピラザミン		殺菌	2000	100~300L			1							
殺菌	ダコニール1000	TPN		殺菌	1000	100~300L			1							
殺菌	ジーファイン水和剤	炭酸水素ナトリウム・銅		殺菌	800	100~300L			0							
殺菌	ロブラール水和剤	イプロジオン		殺菌	1000	100~300L			1							
殺虫	マッチ乳剤	ルフェスロン		殺虫	2000	100~300L			1							
殺虫	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド		殺虫	2000	100~300L			1							
殺菌	アフエットフロアブル	ベンチオピラド		殺菌	2000	100~300L			1							
殺虫	グレーシア乳剤	フルキサメタミド		殺虫	2000	100~300L			1							
殺虫	スピノエース顆粒水和剤	スピノサド		殺虫	5000	100~300L			0							

備考:

節減対象農薬(成分カウント) 合計20回の計画回数
 化学肥料(窒素成分) 合計23kgの計画使用量
 5削減、3削減で表示します。

圃場名 区画⑬-15 の実績です。
 2024/5時点実績 6回、11.2kg

前作の最終実績 21回、22.3kg

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限		
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分	
殺菌	ポリオキシシンAI水溶剤「科研」	ポリオキシシン		殺菌	5000	100~300L			0								

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月		
2月		
3月	播種	播種 3/1~31
4月		
5月	耕起、定植	耕起 5/3~31、定植 5/10~29
6月		
7月	収穫	収穫 7/5~
8月	収穫	
9月	収穫	
10月	収穫 ~10/末	
11月		
12月		

耕起開始:	令和6年5月3日
終了:	令和6年5月31日
播種開始:	令和6年3月1日
終了:	令和6年3月31日
定植開始:	令和6年5月10日
終了:	令和6年5月29日
収穫開始:	令和6年7月5日
終了:	令和6年10月末